

有志舎の新刊です。2020年7月下旬刊行

# ベ平連とその時代

—身ぶりとしての政治—

平井一臣 著

四六判・ハードカバー・340ページ 本体価格 2,800円

フランスデモ、徹夜ティーチ・イン、ジョン・バエズ、脱走兵、フォークゲリラ、ハンパク、反戦喫茶……。五輪から万博へ、あの時代、人びとは何を考えどう行動したのか？「身ぶり」を通して人びとに反戦を訴え理解や共感を広げていくことを試み、新しい政治空間を模索していったベ平連を現代史の中から描き出す。

(目次)

- プロローグ
- 第一章 ベ平連まで
- 第二章 ベ平連発足
- 第三章 「つなぎの運動」から「持続する運動」へ—初期ベ平連の運動—
- 第四章 地域からのベ平連
- 第五章 脱走兵と七〇年安保
- 第六章 フォークソングとハンパク—対抗文化運動としてのベ平連—
- 第七章 安保を過ぎて
- エピローグ

〈著者紹介〉

平井一臣 (ひらい かずおみ) : 1958年生まれ、鹿児島大学教授、政治学・日本現代政治史専攻

～版元から～ ベトナム戦争が激化し、高度成長まっただ中の1965年、ベ平連(ベトナムに平和を！市民連合)は登場しました。それまでの社会運動とは違い、デモをしながら道行く人びとにカラフルなピラや花を配り、フォークソングを歌い、反戦スナック・喫茶店を開き、ユニークなミニコミを発行し、自由な発想で、「ふつうの市民」としてそれぞれの主体性を尊重しあい、各地で反戦の声を上げていったのです。こうして、彼ら／彼女らは多様な「身ぶり」を通して日常に新しい政治空間を創造していきました。このような運動がなぜこの時代に登場し、全国に拡大していったのか。ベ平連の思想と行動の意味を現代史のなかから明らかにし、私たち一人一人にとっての「政治」について考えます。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	<b>ベ平連とその時代</b> —身ぶりとしての政治— 平井一臣 著	日本史(現代) 現代日本政治
	ご担当	四六判・ハードカバー、340ページ 本体価格 2,800円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	<b>新刊</b> ISBN 978-4-908672-41-5 C1021	

ご注文は (株)JRC(人文・社会科学書流通センター)へ

返品条件付注文です。